



世界に希望を生み出そう

2023-2024
No.1718
2023.9.28

会長：武井順一 幹事：関美津男
会員数：48(内2名特別会員) 会場出席：28 欠席：20
出席率：60.87% 前々回出席率：86.96%
点鐘：武井順一 会長 司会：石坂一男 副S A A
ロータリーソング：我等の生業 (ソングリーダー：小曾根一雄)
例会場：ホテルペラヴィータ 3F 12:30～



自らの心を解放し
明るく学んで
楽しく奉仕

お客様



独立行政法人水資源機構
沼田総合管理所 所長 森合正人 様

幹事報告

関美津男 幹事



- ①理事会の報告をさせていただきます。(別紙)
- ②9月24日、地区主催の次年度会長・幹事向けのR L I セミナーが前橋問屋センターにて開催され、金井会長エレクトと古池副幹事が参加しました。また、宮田君にはラーニングファシリテーターを務めて頂きました。
- ③次週10月5日は、8日開催の尾瀬クリーンハイキングに振替で休会となります。

会長の時間

武井順一 会長



秋の彼岸も過ぎて“暑さ寒さも彼岸まで”の言葉通り、観測史上一番の暑さとなった今年の夏もようやく終わりが見えてきた感があります。

さて、群馬県のJA友の会というところが、毎年秋になると、短歌・俳句・川柳大会というものを行います。JAですから、農家の方達で年金を頂いている方達に作品を応募してもらい、一冊の冊子にして応募者全員に無償配布してくれるというもので、毎年 800 人以上の応募があるということです。今年で 27 回目だそうです。私も数年前から応募してまして、一度『優秀賞』という賞に輝き、賞品として作品が書かれたガラス製の盾を頂きました。上毛新聞紙上にも大きく掲載されました。

今日は、その優秀賞になった短歌を皆さんに紹介しますので、笑わないで聞いて下さい。

庭の栗 まだ落ちぬかと 見上げれば
屋寝の蛇が ドサリと落ちる

という歌です。これは作り話ではなく、実際にあった情景を詠んだものです。

どうも、お粗末様でした。

ソングリーダー

小曾根一雄 会員



出席報告

須田恭弘 委員





武井 順一・関 美津男

独立行政法人水資源機構沼田総合管理所 森合正人様
の御来訪を歓迎致します。本日の卓話、宜しく
願ひ致します。

林 秀彦

本日の卓話は、水資源機構沼田総合管理所の森合正人
所長にお願いしました。ダムの話、楽しみにして
います。宜しく願ひ致します。

本山 佳宏

妻の誕生日に素敵な花を頂き、ありがとうございました。

ボーイスカウトへ助成金贈呈



日本ボーイスカウト群馬連盟沼田第1団の団委員長を
務める林秀彦会員に、今年度の助成金が手渡されました。

今年度の寄付金依頼



米山記念奨学委員会 金井利夫委員長、ロータリー財団
委員会 村山由幸委員長、奉仕プロジェクト委員会 茂木清
七委員長より、それぞれの委員会の今年度寄付金依頼が
ありました。

本日の卓話



独立行政法人水資源機構
沼田総合管理所 所長 森合正人様
紹介者 林秀彦 会員

『皆さまの生活を利根川の源流から支える「水資源機構
沼田総合管理所」のご紹介』

利根川の治水と利水についての取り組みを教
えて頂きました。

利根川の上流には9つのダムがあり、沼田総合
管理所では、八木沢ダムと奈良俣ダムを管理
しているそうです。ダムには、必要な場所
へ確実に水を届ける役目と、洪水から地域
を守る役目があります。急激な天候の変化や
台風などにも備える必要があるそうで、私
たちの暮らしを守るための取り組みが分か
りました。



本日のランチ

尾瀬クリーン奉仕ハイキング

2023年10月8日(日)
温泉&慰労会 ソナタリユ



金井利夫会員 卓話

(2023年8月17日 第1712回例会)

皆さん、こんにちは。先日生方彰バスターガバナーから、新潟万代RCとどのようなご縁で友好クラブとなったのか卓話してほしいとの指名を受けましたので、本日は今から29年前の締結の様子を聞いて下さい。

沼田中央RCは、新潟万代RCより8年早く創立、誕生しました。

今から23年前の西暦2000年以前までは、新潟県と群馬県は同じ地区で、地区大会をはじめ各ロータリー活動が全て一緒に行われていました。従ってガバナーの輩出は、新潟と群馬が交代で受け持ち、地区大会はガバナーの出身地で行うのが慣例でした。その為、上越市（昔の直江津）の大島精次ガバナー、また村上市の吉田昭平ガバナーの時は、遠方の為、地区大会に1泊2日での参加となり大変でした。

そして私が幹事だった29年前に、当時直前ガバナーであった栗山清さん（国内でも有名な新潟の菓子メーカーで、亀田製菓×越後製菓×栗山米菓といわれ、新潟市の30階建てトキメッセの社長でもありました）から、次のような提案がありました。

新潟も群馬もクラブ数と会員数が多くなり、2000年には地区分けとなり分離されるので、せっかく親しくなった両県のいずれかのクラブと友好クラブになって親睦交流をしませんか、と。新潟市内には7つのロータリークラブがあり、その中で創立1年目の新潟万代RCを紹介されました。萬代橋近くのホテルオークラ新潟を例会場に、新潟で初めての夜間例会型で、また当時では珍しく女性会員も10人いました。

そこで当時の役員・役員で何回も協議した結果、新潟万代RCと友好締結する事になりました。

そして29年前の5月16日に、新潟市内の料亭でめでたく締結式の運びとなりました。その時の沼田中央の会長が、松尾勲さん（白沢設備の社長）で、幹事が私でした。新潟万代の会長は内科医の伊藤さん、幹事が熊木さんでした。当時、沼田中央の会員数77人、新潟万代が50人でした。

この29年間友好クラブとして、合同例会、納涼会、親睦ゴルフ会やスキー交流しながらの懇親会と、数多くの行事の中で有意義な交流を重ねて来ました。

今年度は、武井順一会長、関美津男幹事、本山クラブ管理運営委員長らが友好クラブとの交流行事を積極的に進めたいとの事で、新潟万代への表敬訪問には18人が参加し屋形船での親睦会が親しく行われました。また9月19日の、あてま高原ベルナティオでのゴルフ親睦会にもすでに14人が参加予定との事です。

尚、今年度が友好クラブ締結30周年で、3年に1度の締結更新の年になりますので、理事会で話し合っ
て記念行事を来年計画したいと考えております。

以上で、友好クラブ締結のいきさつを終わります。ご清聴有難うございました。